

＜参考資料＞ 成果指標一覧

基本政策	成果指標	指標設定の考え方	基準値	目標値(H31)	目標値(H39)	目標値設定の考え方及び指標の取り方	備考
1	合計特殊出生率	本市が子どもを生き育てやすい環境にあるかを計ります	旭川市 1.28 (H26) 全国 1.42 (H26)	全国値	全国値	・全国値よりも低い水準で推移してきていることから、全国値を目標とします ・市の値は、住民基本台帳人口と人口動態統計出生数から算出し、全国値は人口動態統計としています	
	年少人口割合	子どもが育成し、本市が持続的に発展する人口構成になっているかを計ります	旭川市 11.5% (H27) 全国 12.9% (H27)	全国値	全国値	・全国値よりも低い水準で推移していることから、全国値を目標とします ・1月1日現在の住民基本台帳人口としています	
	子どもたちが健やかに成長していると感じる市民の割合	地域において次代を担う子どもたちが健全に育っているかを市民の意識で計ります	55.5% (H27)	60%	70%	・市民の過半数が子どもたちが健やかに育っていると感じていますが、更に割合が増加することを目標とします ・市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています	旭川市民アンケート調査
2	健康寿命	日常的に介護を必要としないで、健康で自立した生活ができる期間が伸びているかを計ります	男性 78.6歳 女性 82.9歳 (H25)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	・平均寿命と健康寿命の差を短縮することを目標とします ・厚生労働科学研究班が示す「健康寿命の算定方法の指針」で定める算定方法を用いています	
	ふだんから、健康のために何か取り組んでいる市民の割合	市民の主体的な健康づくりに対する取組が広がっていることを市民の意識で計ります	49.9% (H27)	53%	60%	・市民の約半数がふだんから健康のために何か取り組んでいます、更に割合が増加することを目指します ・市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート	旭川市民アンケート調査

						調査の結果を用いています	
	特定健診受診率	健康保持や疾病予防のための受診状況を計ります	20.7% (H25)	60%	60%	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病有病者及び予備群を削減するため、60%の受診率を目標とします 本市の国民健康保険加入者の受診率を用いています 	旭川市国民健康保険第2期特定健診等実施計画において、60%を目標としています
3	互いに助け合いながら暮らしていると感じている市民の割合	互いの支え合いの中で安心して暮らすことのできる環境にあるかを市民の意識で計ります	43.5% (H27)	49%	60%	<ul style="list-style-type: none"> 市民の半数近くが互いに助け合いながら暮らしていると感じています 更に割合が増加することを目標とします 市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています 	旭川市民アンケート調査
	障害者の雇用率	障害者の社会参加が進んでいるかを計ります	2.07% (H26)	法定雇用率以上	法定雇用率以上	<ul style="list-style-type: none"> 障害者の雇用の促進等に関する法律に定める法定雇用率を下回らないことを目標とします 	
	前期高齢者のうち、要介護1以上の認定を受けている高齢者の割合	介護予防等の効果を、前期高齢者のうち、要介護1以上の認定を受けている人の割合で計ります	3.41% (H26)	3.41%以下	3.41%以下	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防等により、要介護1以上の高齢者の割合が基準値より低下していることを目標とします 	
4	子どもたちが健やかに成長していると感じる市民の割合 (再掲)	地域において次代を担う子どもたちが健全に育っているかを市民の意識で計ります	55.5% (H27)	60%	70%	<ul style="list-style-type: none"> 市民の過半数が子どもたちが健やかに育っていると感じています 更にその割合が増加することを目標とします 市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています 	旭川市民アンケート調査

	子どもたちへの教育環境が充実していると感じる市民の割合	児童生徒等の教育環境（学校施設や指導体制など）の充実が図られているかを市民の意識で計ります	31.6% (H27)	35%	42%	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちへの教育環境が充実していると感じる市民が約3割と少ないことから、更にその割合が増加することを目標とします 市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています 	旭川市民アンケート調査
5	学習活動及び社会活動における生涯学習ボランティア数	地域社会の担い手として、市民が自ら学んだ成果を発揮している状況を計ります	838人 (H27)	892人	1,000人	<ul style="list-style-type: none"> 学んだ成果を地域に還元している人がまだ少ないことから、生涯学習ボランティア数を基準値より増加することを目標とします 生涯学習ボランティア数は、社会教育部登録のボランティア（彫刻美術館、図書館、科学館、博物館等でボランティア登録し活動している）人数と、生涯学習情報提供システム登録者数のうちボランティア可能者（謝礼なしでの講師派遣を承諾している無償ボランティア）数としています 	
	趣味・教養の講座や、今日的な課題などについて学ぶ機会が充実していると感じる市民の割合	趣味・教養の講座や、今日的な課題などについて学ぶ機会及び環境の充実度合いを市民の意識で計ります	26.7% (H27)	30%	37%	<ul style="list-style-type: none"> 趣味・教養の講座や、今日的な課題などについて学ぶ機会が充実していると感じる市民が3割に満たないことから、更にその割合が増加することを目標とします 市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています 	旭川市民アンケート調査
	文化芸術活	文化芸術に触	32.0%	35%	42%	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動が盛んなま 	旭川市民

	動が盛んなまちであると思う市民の割合	れる機会や市民による文化芸術活動の状況を市民の意識で計ります	(H27)			ちだと思う市民が約3割と少ないことから、更にその割合が増加することを目標とします ・市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています	アンケート調査
	スポーツ実施率	市民がスポーツに取り組んでいるかを市民の意識で計ります	27.6% (H27)	35%	50%	・週1回以上スポーツを行った成人が3割に満たないことから、更にその割合が増加することを目標とします ・スポーツ実施率は、成人が週1回以上スポーツを実施している割合としています ・市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています	旭川市民アンケート調査
6	一人当たりの市民所得	経済活動により、市民生活が経済的に豊かになっているかを計ります	旭川市 2,230 千円 (H23) 全道 2,475 千円 (H23)	一人当たりの道民所得	一人当たりの道民所得	・道民所得より低い水準で推移してきていることから、一人当たりの道民所得を目標とします ・市の値は、市民経済計算の数値、北海道の値は道民経済計算の数値としています ・一人当たりの市民所得とは、市内の経済活動により新たに生み出した価値を人口で割ったものであり、個人の給与のほか、企業の利潤なども含めた市経済全体の豊かさを表すものです	
	製造品出荷額等	地場製品の競争力が向上し、国内外で広く販売されているかを計	1,837 億円 (H25)	1,890 億円	1,960 億円	・工業統計調査開始後、最も高い数値を示した平成6年当時の生産年齢人口1人当たりの製造品出荷額等の水準（生産	

		ります				性の確保)を目標としま す	
	有効求人倍 率	地域の雇用が 創出されてい るかを計りま す	旭川市 0.85倍 (H26) 全道 0.86倍 (H26)	全道値	全道値	・全道値と同程度かそれ以 上の水準で推移してき ており、全道値の水準を 維持することを目標と します ・旭川公共職業安定所管内 数値を用いています	
	農業生産額	農業の生産性 が向上してい るかを計りま す	146 億円 (H26)	147 億円	149 億円	・農業の生産性が高まり、 基準値より増加するこ とを目標とします	
7	旭川市は活 気と賑わい のあるまち だと思ふ市 民の割合	まちに賑わい や活気がある かを市民の意 識で計ります	21.7% (H27)	25%	32%	・まちに賑わいや活気があ ると思ふ市民が約2割 と少ないことから、更に その割合が増加するこ とを目標とします ・市民を対象に無作為抽出 して行ったアンケート 調査の結果を用いてい ます	旭川市民 アンケー ト調査
	中心部の歩 行者数	中心部に賑わ いがあるかを 計ります	130,407 人 (H27)	136,000 人	145,000 人	・中心市街地活性化の取組 を進めることにより、1 4.5万人となることを 目標とします ・中心市街地活性化協議会 による旭川平和通買物 公園通行量調査(平日・ 休日)の平均値の数値と しています	

	高速交通利用者数	市外との交流が活発になっているかを計ります	622.3万人 (H25)	630万人	640万人	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外から本市を訪れる人が増えることにより、まちの賑わいや活力が高まることから、本市への人の流入が640万人となることを目標とします ・高速交通利用者数は、JR旭川駅の降客数及び旭川空港の降客数と、旭川鷹栖、旭川北両IC出口利用者数(両IC出口台数×2.5人/台(車輛平均搭乗人数))の合計としています 	基準値算式 ~ JR旭川駅降客数 107.6万人+旭川空港降客数 55.7万人+高速IC出口利用者 459.0万人
	観光客宿泊延数	国内外から訪れる観光客が本市に滞在している状況を計ります	74.4万泊 (H26)	85万泊	85万泊	<ul style="list-style-type: none"> ・本市を訪れる観光客の増加により、宿泊延数が基準値より増加することを目指します 	
8	快適に生活できる環境にあると感じている市民の割合	快適な市民生活の基盤となる安定した都市機能が保たれているかを市民の意識で計ります	38.6% (H27)	42%	49%	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の約4割が身近な生活環境を快適に生活できる環境であると感じていますが、更にその割合が増加することを目指します ・市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています 	旭川市民アンケート調査
	心地良い景観だと感じている市民の割合	川や緑など自然と調和した本市の特徴的な景観が良好に保たれているかを市民の意識で計ります	37.4% (H27)	42%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の約4割が都市の景観が保たれていると感じていますが、更にその割合が増加することを目指します ・市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています 	旭川市民アンケート調査
	環境基準達成度	快適で健康に暮らせる生活環境が保たれ	11/14項目 (H26)	14/14項目	14/14項目	<ul style="list-style-type: none"> ・大気、水質、騒音に関する合計14項目の環境基準の全てが適合する 	

		ているかを計 ります				<ul style="list-style-type: none"> ことを目標とします ・環境基本法において「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められている環境基準（大気、水質、騒音）14項目のうち適合した数としています 	
9	ごみ総排出量	廃棄物の発生・排出抑制が進んでいるかを計ります	118,548t (H26)	112,800t	100,000t	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化や資源化の取組を進めることにより、家庭ごみ、事業系ごみを含む総排出量が10万t以下となることを目標とします 	旭川市ごみ処理基本計画において、10万tを目標としています
	温室効果ガス排出量	環境負荷の低減が進んでいるかを計ります	2,695 千t-CO ₂ (H23)	2,525 千t-CO ₂	2,193 千t-CO ₂	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な社会経済活動に起因する二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を、2005年度比で25%削減することを目標とします ・旭川市地球温暖化対策実行計画で定める算定方法を用いています 	旭川市地球温暖化対策実行計画において、2,193千t-CO ₂ を目標としています
	緑などの自然環境が良いと感じている市民の割合	恵まれた自然という地域資源が生活環境の中で生かされているかを市民の意識で計ります	59.0% (H27)	62%	69%	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の約6割が緑などの自然環境が良いと感じていますが、更にその割合が増加することを目標とします ・市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています 	旭川市民アンケート調査
10	災害や犯罪などに対して不安を感じている市民の割合	安全・安心なまちに向けた取組が進んでいるかを市民の意識で計ります	61.5% (H27)	58%	51%	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の約6割が災害や犯罪などに不安を感じていることから、更にその割合が減少することを目標とします ・市民を対象に無作為抽出 	旭川市民アンケート調査

						して行ったアンケート調査の結果を用いています	
	市民の人的災害り災率	事故や事件などの人為的な災害が減っているかを計ります	1.38% (H26)	1%未満	1%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・人為的な災害に遭うこと(り災)が1%未満となることを目標とします ・10月1日現在の住民基本台帳人口に対する、交通事故発生件数, 出火件数, 事故救急出動件数, 犯罪発生件数の割合としています 	基準値算式～(交通事故発生件数 813件 + 出火件数 70件 + 事故救急出動件数 1,184件 + 犯罪発生件数 2,731件) / 住民基本台帳人口 347,450人 × 100%
11	本市に愛着や親しみを感している市民の割合	市民が郷土愛を抱くようなまちづくりが行われているかを市民の意識で計ります	77.8% (H27)	78%	80%	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで約8割の高い水準で推移してきており、その水準を維持することを目標とします ・市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています 	旭川市民アンケート調査
	地域で主体的に活動している市民の割合	市民が主役となってまちづくりが進められているかを市民の意識で計ります	13.5% (H27)	17%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での行事や活動に主催者や企画者として参加している市民が2割に満たないことから、更にその割合が増加することを目標とします ・市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています 	旭川市民アンケート調査
	まちづくりに関心がある市民の割合	市民が関心を持てるようなまちづくりが	73.0% (H27)	75%	80%	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の約7割がまちづくりに関心を持っていますが、更にその割合が増 	旭川市民アンケート調査

	合	行われているかを市民の意識で計ります				加することを目標とします ・市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています	
	ワーク・ライフ・バランスを実現できていると思う市民の割合	男女が能力を發揮し、活躍できているかを市民の意識で計ります	17.3% (H27)	21%	28%	・ワーク・ライフ・バランスが実現できていると感じている市民が2割に満たないことから、更にその割合が増加することを目標とします ・市民を対象に無作為抽出して行ったアンケート調査の結果を用いています	平成 27 年度は独自アンケート、以降は旭川市民アンケート調査
1 2	上川中部定住自立圏形成協定に基づく取組数	日常生活において特に結び付きが強い上川中部 1 市 8 町との連携が進んでいるかを計ります	152 (H27)	162	182	・上川中部 1 市 8 町との連携を推進することにより、基準値より増加することを目標とします	
	北北海道の自治体との連携による取組数	北北海道の自治体との連携が進んでいるかを計ります ※上川中部定住自立圏（1 市 8 町）形成協定に基づく取組数を除く	26 (H27)	28	32	・北北海道の自治体との連携を推進することにより、基準値より増加することを目標とします	
1 3	市役所に対して良い印象を持っている市民の割合	市民と市役所の信頼関係が構築されているかを市民の意識で計ります	39.2% (H27)	43%	50%	・市民の約 4 割が市役所に対して良い印象を持っていますが、更に市民の半数が以前と比較して良くなったと思うことを目標とします	旭川市民アンケート調査
	実質公債費比率	市の借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる経	7.0% (H26)	6.6%	5.8%	・健全な財政運営を進めることにより、基準値より減少することを目標とします	

	費の大きさで、計画的な財政運営が行われているかを計ります					
将来負担比率	将来財政を圧迫する可能性の度合いの大きさを、将来の世代に過度に負担を先送りしない財政運営が行われているかを計ります	90.3 (H26)	86.0%	78.0%	・健全な財政運営を進めることにより、基準値より減少することを目標とします	

■ 成果指標の役割

- ・基本政策に掲げる目標像の達成状況を客観的に計る目安・尺度となるものです。
- ・成果指標の目標値は、施策・事業の組立てや具体的な取組を進める際の動機付けとなります。また、計画の進行管理の際、目標の達成状況を客観的に計りながら、施策・事業の点検・評価にも使われます。

■ 旭川市民アンケート調査の結果を成果指標としたものの目標値設定の考え方

- ・次のような統一的な考え方で目標値を設定しています。

基準値	目標値設定の考え方
第7次旭川市総合計画における目標値を下回っている指標	引き続き同じ目標値を設定
第7次旭川市総合計画における目標値を達成している指標、又は、ほぼ達成している指標 第8次旭川市総合計画から新たに設定した指標	10%増を目標値として設定 (一桁未満の端数は切り上げ) ※誤差(3%程度)を超えて明らかに数値が上昇したと判断できる10%程度の増加を目標値とします。
基準値が70%台の指標	80%を目標値として設定
基準値が80%以上の指標	現状維持を目標値として設定

※中間値は、目標値－基準値の差を按分して算出しています。

※「災害や犯罪などに対して不安を感じる市民の割合」は、10%減で設定し、中間値は基準値－目標値の差を按分して算定しています。

※「スポーツ実施率」は除きます。

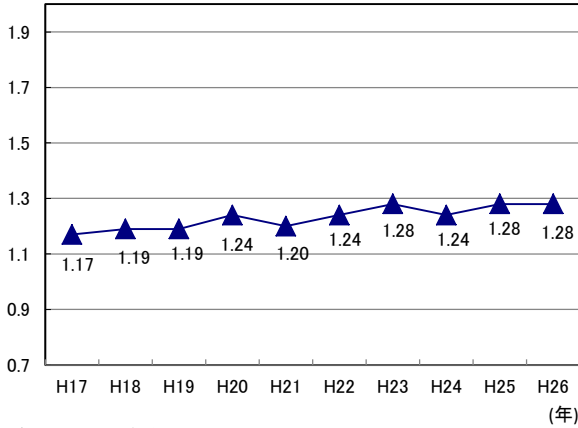
■ 成果指標の推移

各成果指標の推移については、次のとおりです。

※過去のデータがあるもののみをグラフ化しています。

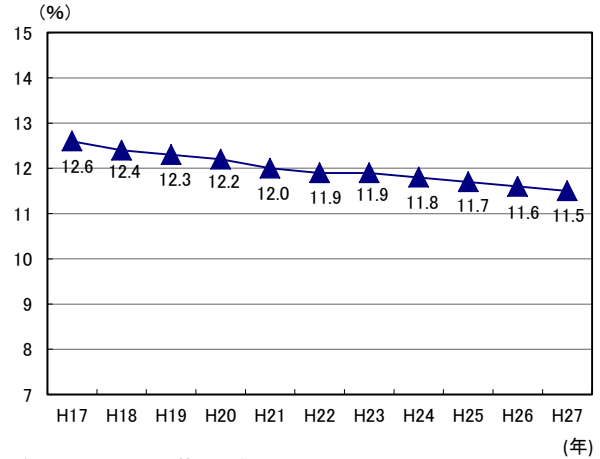
※各指標名のページ数は、別紙「第8次旭川市総合計画 基本計画(案)」の該当ページを示しています。

○合計特殊出生率
(6ページ)



資料:旭川市保健所

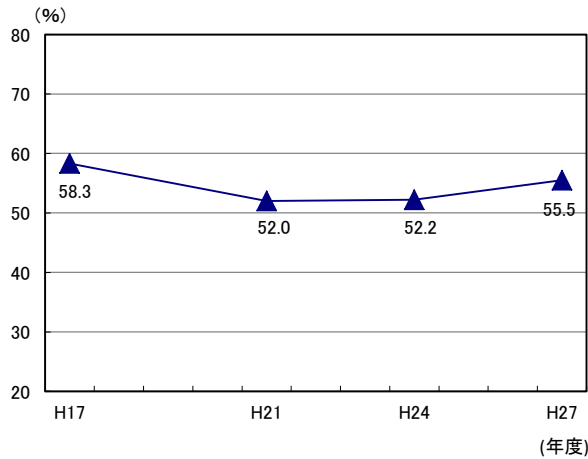
○年少人口割合
(6ページ)



資料:旭川市住民基本台帳

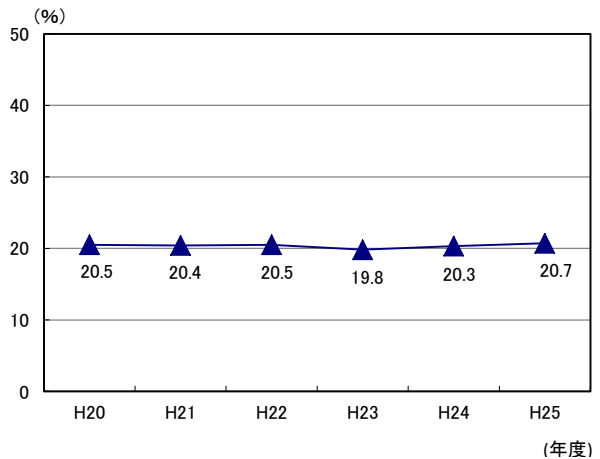
※各年3月末現在。ただし、平成26年以降は1月1日現在。

○子どもたちが健やかに成長していると感じる市民の割合
(7ページ, 12ページ)



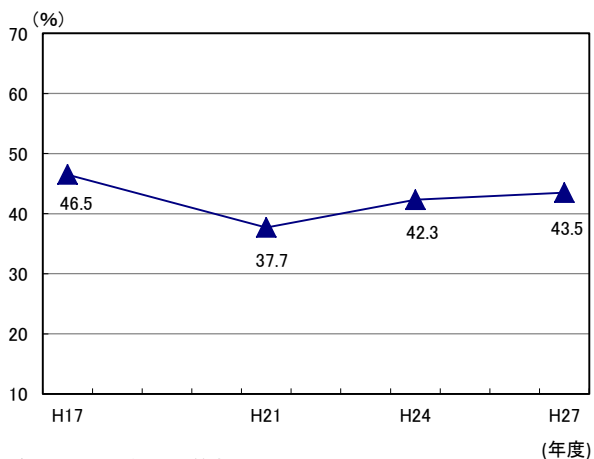
資料:旭川市総合政策部

○特定健診受診率
(9ページ)



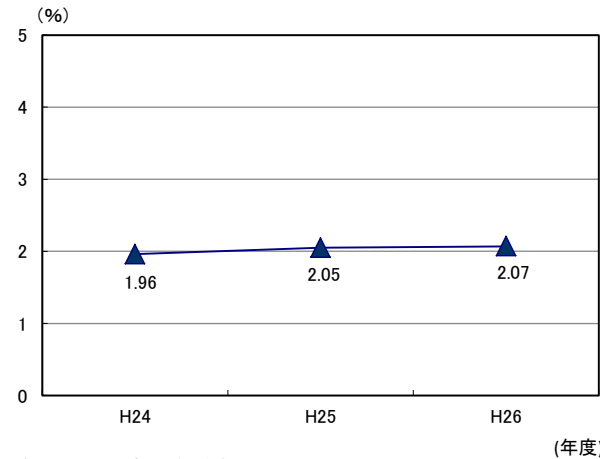
資料:旭川市福祉保険部

○互いに助け合いながら暮らしていると感じている市民の割合
(10ページ)



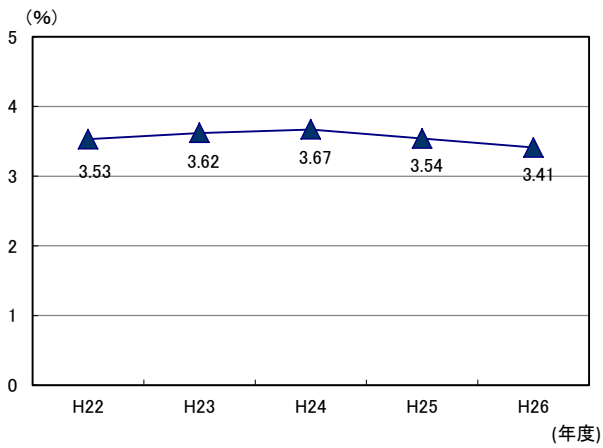
資料:旭川市総合政策部

○障害者の雇用率
(10ページ)



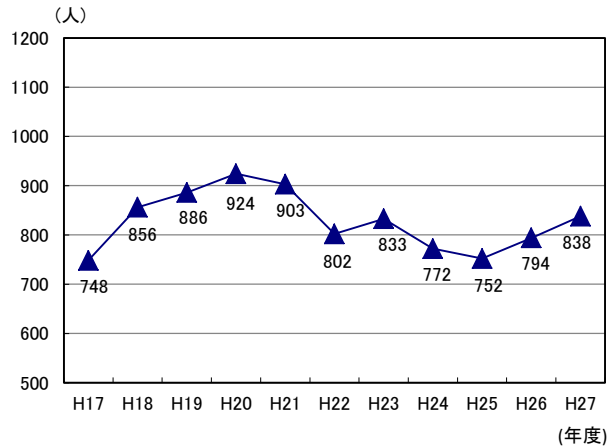
資料:旭川市福祉保険部

○前期高齢者のうち、要介護1以上の認定を受けている高齢者の割合
(10ページ)



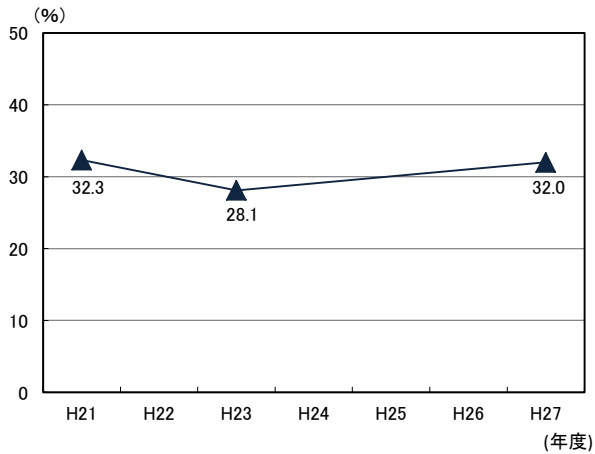
資料: 旭川市福祉保険部

○学習活動及び社会活動における生涯学習ボランティア数
(14ページ)



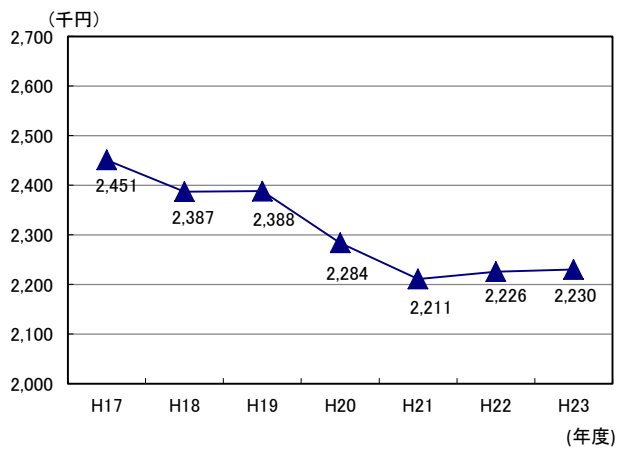
資料: 旭川市教育委員会

○文化芸術活動が盛んなまちであると思う市民の割合
(15ページ)



資料: 旭川市総合政策部, 旭川市教育委員会

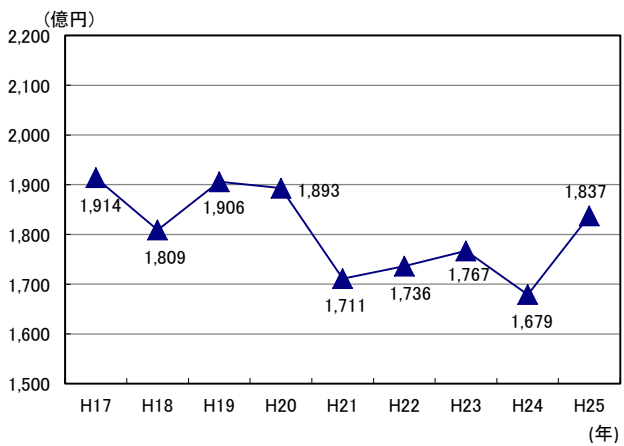
○一人当たりの市民所得
(16ページ)



資料: 旭川市総務部

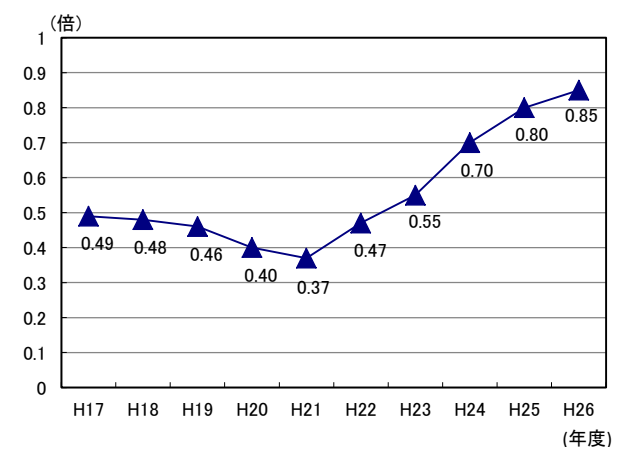
※なお、平成23年度市民経済計算推計結果における基礎資料の改訂等により、過去の数値を遡及改訂している。

○製造品出荷額等
(17ページ)



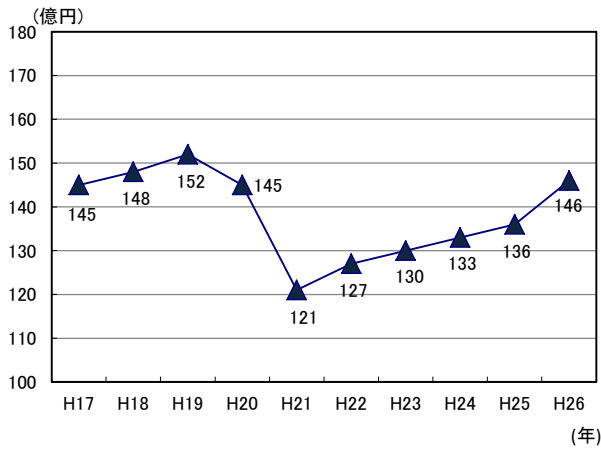
資料: 旭川市総務部

○有効求人倍率
(17ページ)



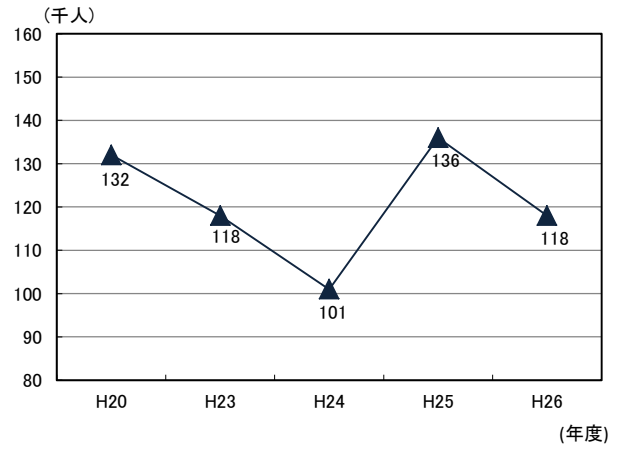
資料: 旭川市経済観光部

○農業生産額
(17ページ)



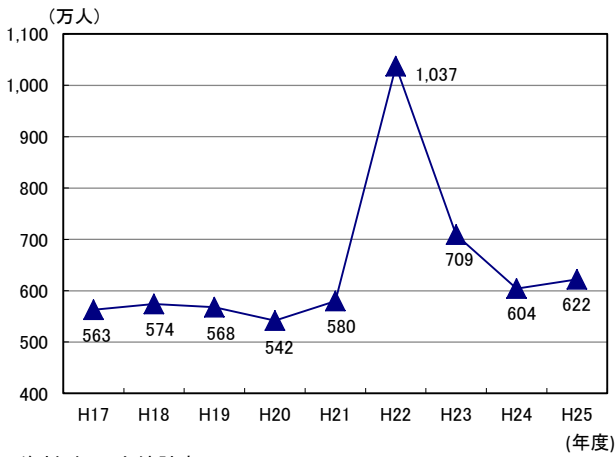
資料: 旭川市農政部

○中心部の歩行者数
(18ページ)



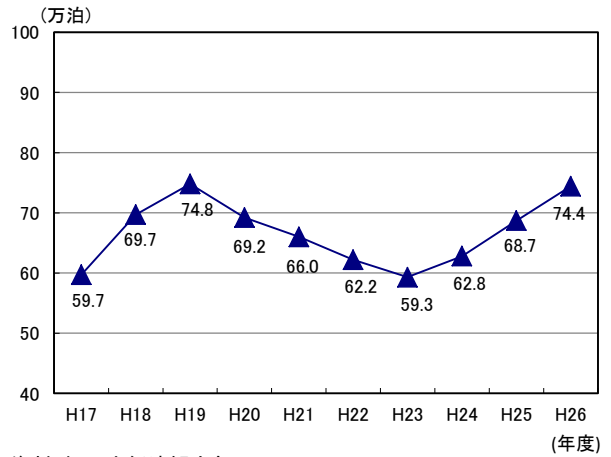
資料: 旭川市総合政策部
※11地点の合計値

○高速交通利用者数
(18ページ)



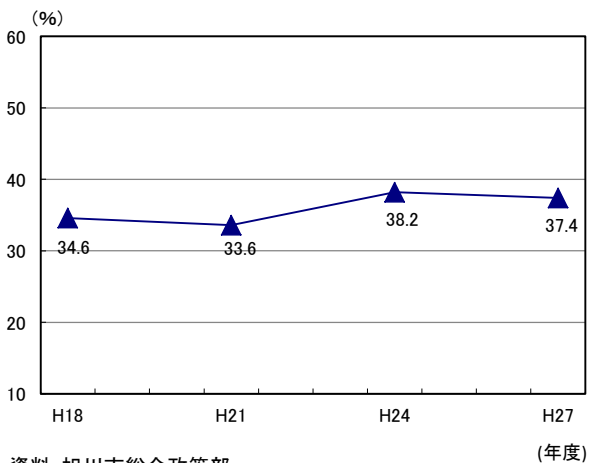
資料: 旭川市統計書
※平成22,23年度は、高速道路無料化社会実験の実施に伴い、高速道路利用者数が増加したことによる。

○観光客宿泊延数
(19ページ)



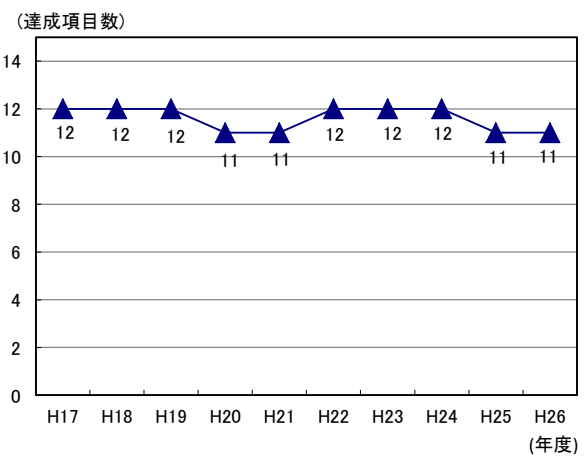
資料: 旭川市経済観光部

○心地よい景観だと感じている市民の割合
(20ページ)



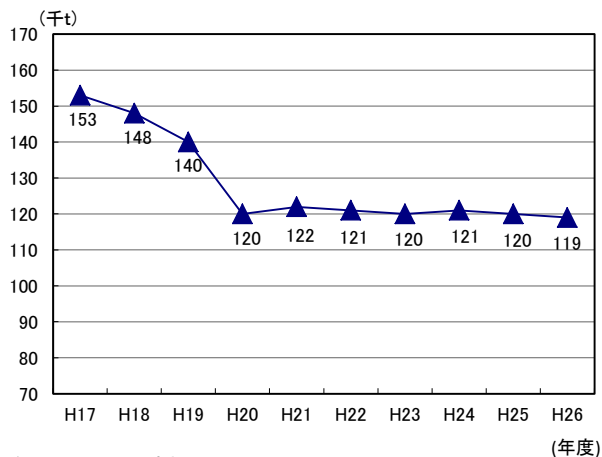
資料: 旭川市総合政策部

○環境基準達成度
(20ページ)



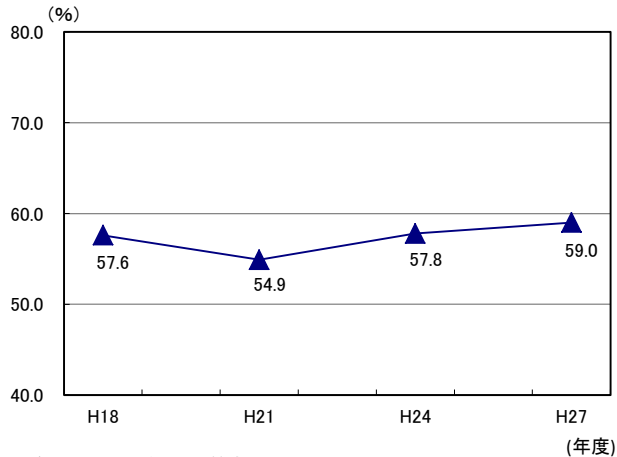
資料: 旭川市環境部

○ごみ総排出量
(22ページ)



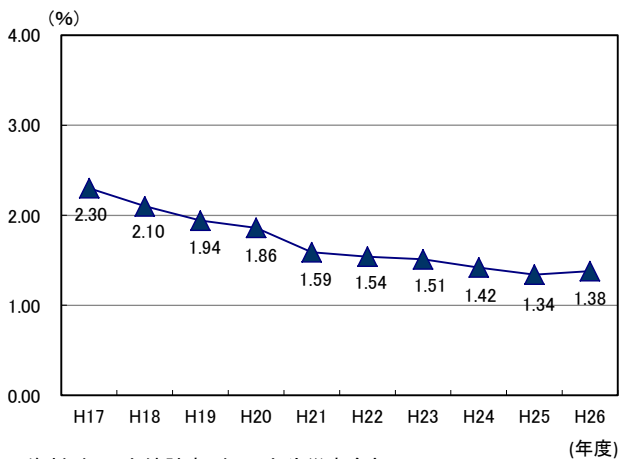
資料: 旭川市環境部

○緑などの自然環境が良いと感じている市民の割合
(23ページ)



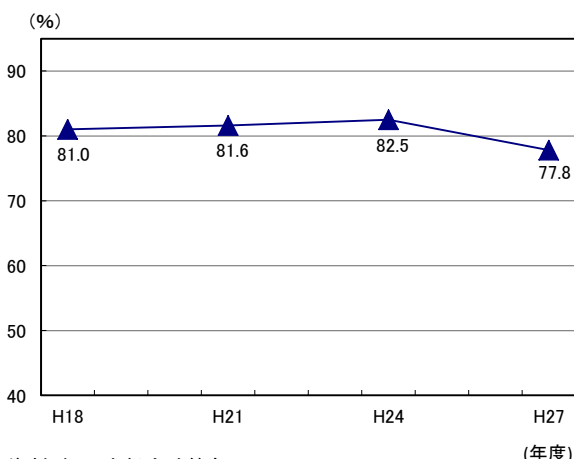
資料: 旭川市総合政策部

○市民の人的災害り災率
(24ページ)



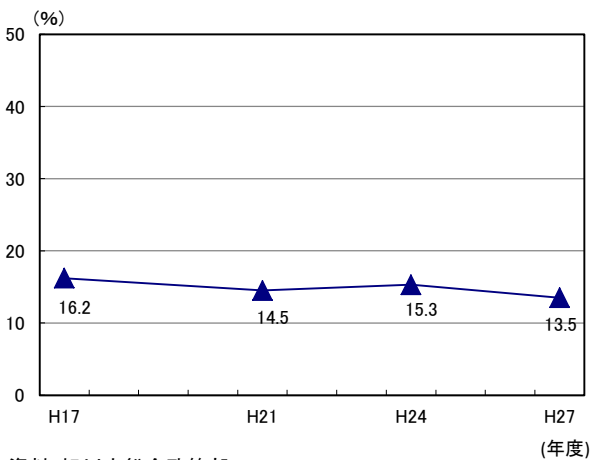
資料: 旭川市統計書, 旭川市防災安全部

○本市に愛着や親しみを感じている市民の割合
(26ページ)



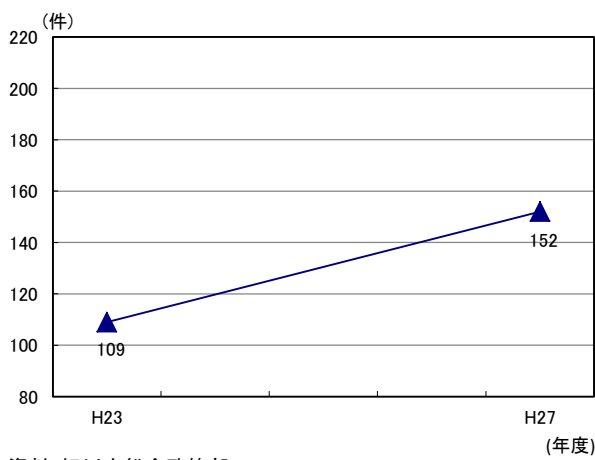
資料: 旭川市総合政策部

○地域で主体的に活動している市民の割合
(26ページ)



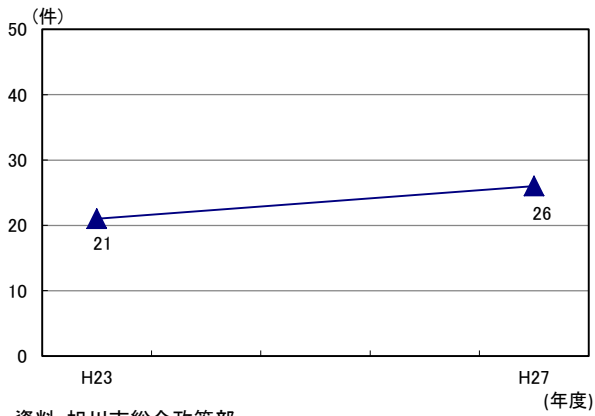
資料: 旭川市総合政策部

○上川中部定住自立圏形成協定に基づく取組数
(28ページ)



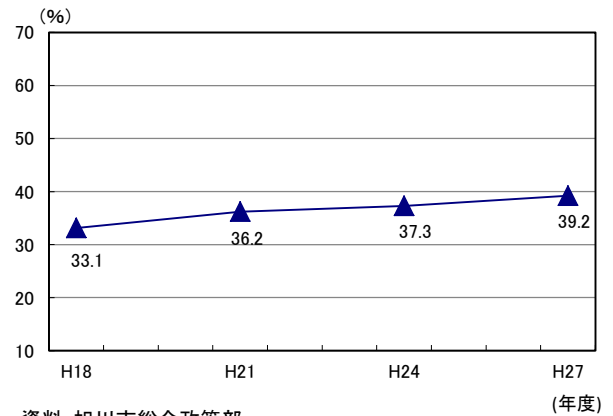
資料: 旭川市総合政策部

○北海道の自治体との連携による取組数
(28ページ)



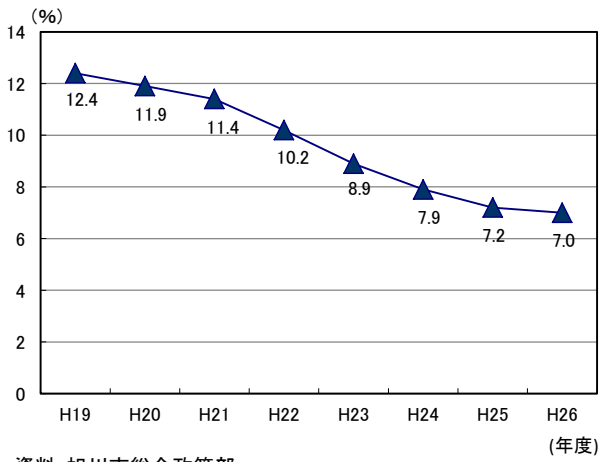
資料: 旭川市総合政策部

○市役所に対して良い印象を持っている市民の割合
(30ページ)



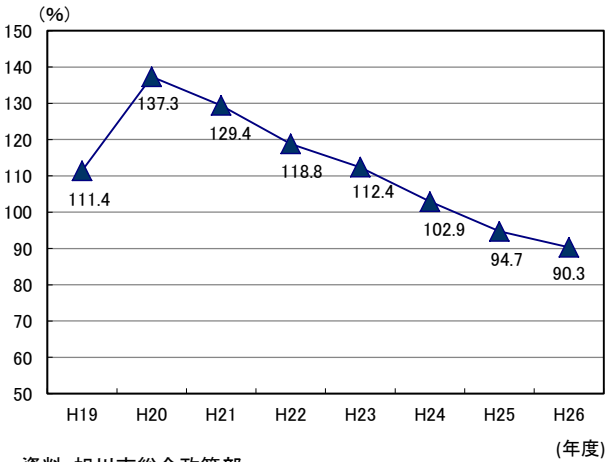
資料: 旭川市総合政策部

○実質公債費比率
(30ページ)



資料: 旭川市総合政策部

○将来負担比率
(30ページ)



資料: 旭川市総合政策部